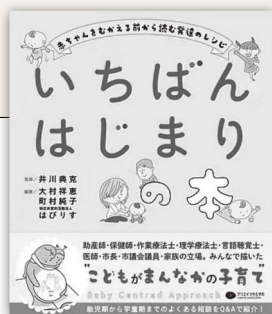


お役に立てるお薦めの

4冊



いちばんはじまりの本 赤ちゃんをむかえる前から読む発達のレシピ

井川典克 監修

大村祥恵, 町村純子, 特定非営利活動法人はびりす 編著

助産師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士・医師・市長・市議会議員が、子育てを始める親に向けて、胎児期から学童期までのよくある相談に答える。通奏するのは、どんな子も、もって生まれた個性を輝かせながら、家族まるごと地域に愛されて育ってほしいという願い。

定価 2200円(本体2000円+税10%) / クリエイトスがもがわ



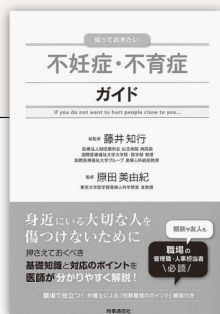
女性と助産師のパートナーシップ 実践のためのモデル

カレン・ギリランド, サリー・ペアマン 著

ドーリング景子 訳

「女性と助産師のパートナーシップ」は著者らが提唱し、多言語に翻訳され世界中の助産師の活動指針となった。本書はその日本語版。日本では書籍や研究がなく、具体的な議論もほとんどされてこなかったが、本書ではその基礎知識や哲学、具体的な実践を学ぶことができる。

定価 1650円(本体1500円+税10%) / 日本助産師会出版



知っておきたい 不妊症・不育症ガイド

藤井知行 総監修

原田美由紀 監修

保険適用化や助成制度で注目される「不妊症・不育症」治療。仕事との両立が難しく、悩んでいる人も少なくない。本書は身近にいる大切な人を傷つけないために、周囲の人が押さえておきたい基礎知識と対応のポイントをやさしく解説する。巻末に職場で役立つ労務管理のポイントも。

定価 2200円(本体2000円+税10%) / 時事通信社



だって、生まれただもん 重い障がいがあるけど、 みんなと私らしく生きてます。

西田江里 著

24時間365日支援の必要な重い障害のある著者は、ヘルパーのケアを受けながら、指談で思いや意志を伝えてひとり暮らしをしている。自分の生きる意味は「障害があっても自分らしく生きていいんだよ」と伝えることとし、命とは、幸せとは、自分の生き方など、自らの想いを綴った。

定価 1760円(本体1600円+税10%) / ぶどう社